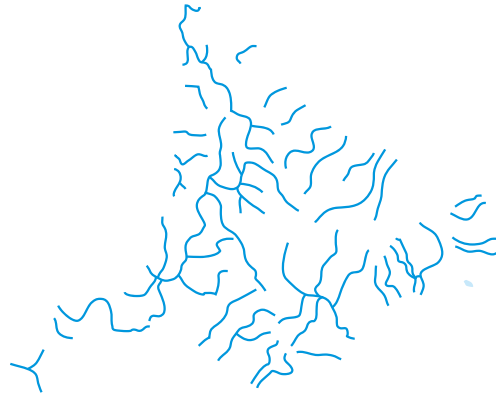


一川の利活用を考える

大堰川流域においては様々な見地からの取り組みが積極的におこなわれています。

全国の河川においても多様な視点で先進的取り組みが実施されていますが、このような河川流域の保全やその利活用についての取り組みには、取り組みの主体にしかわからない大変な苦労や独自の創意工夫がある一方、共通する問題点も多くあると思います。

そこで、「歴史文化」・「環境」・「景観」・「新たな利活用」などさまざまな切り口で河川の利活用を先進的に取り組んでおられる団体をお呼びしてシンポジウムを開催し、情報共有をすると同時に、今後の大堰川の河川の利活用を考えるきっかけになればと思います。



川は誰のもの？

シンポジウム

平成23年2月11日(金・祝)
2月12日(土)
会場：ガリアかめおか
大広間 七谷川

主催 保津川の世界遺産登録をめざす会
NPO法人プロジェクト保津川
後援 京都府 亀岡市教育委員会 保津川遊船企業組合
協力 保津川漁業協同組合



京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金
「川は誰のもの？」シンポジウムの開催を支援しています。

平成23年2月11日(金・祝)

13時30分から 集合：保津川下り乗船場

綱道・水寄せなど保津川の文化的景観などを見学しながら保津川下りをします。

参加費 1000円

18時00分から

懇親会 安町 玉川楼

懇親会費 5000円

平成23年2月12日(土)

10時から 場所：ガリアかめおか 大広間 七谷川
シンポジウム

『川は誰のもの？ 一川の利活用を考える』

参加費 1000円 (資料代・昼食代)

事例発表

「保津川のかわまちづくりについて」

京都府南丹土木事務所 河川砂防室長 松崎敏之

「保津川の未来に向けての活動について」

保津川遊船企業組合船頭、

エコ・グリーン対策委員会委員長 森田孝義

「観光船と川下りについて」

全国河川旅客業組合会長 押切太一

「ある日の四万十川 この背景にあるモノとコト」

魚と山の空間生態研究所代表 山下慎吾

「多摩川流域をつなぐ社会的なくみづくりについて」

美しい多摩川フォーラム事務局 宮坂不二生

昼食 保津川の伝統川魚料理
亀岡市行事食研究会

当地の川漁師さんに
獲ってもらった川魚を
料理してもらいます。

午後 シンポジウム

基調講演「保津川の生物多様性と
その活用について」

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
教授 岩田明久

コーディネーター 岩田明久

パネリスト

保津川／松崎敏之・森田孝義

最上川／押切太一

四万十川／山下慎吾

多摩川／宮坂不二生

◎各参加申し込みは、亀岡市教育委員会社会教育課
文化財係 電話 0771(25)5068